

川村ひろあき活動レポート

2021.04.05 Vol.190

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区こてはし台3-13-4

早稲田大学大学院を修了しました!!

(政治学研究科公共経営専攻)

この3月に「六十からの手習い」ならぬ、「五十からの手習い」で、早稲田大学大学院政治学研究科を修了しました。

30余年ぶりの学生生活で社会人と学生の2足の草鞋に戸惑うことが多々ありましたが、コロナ禍の影響から大学院の授業がオンラインになって通学時間が不要になり、地元でも行事等が開催されなくなったことから時間的な余裕が生まれ、勉学に励むことが出来ました。

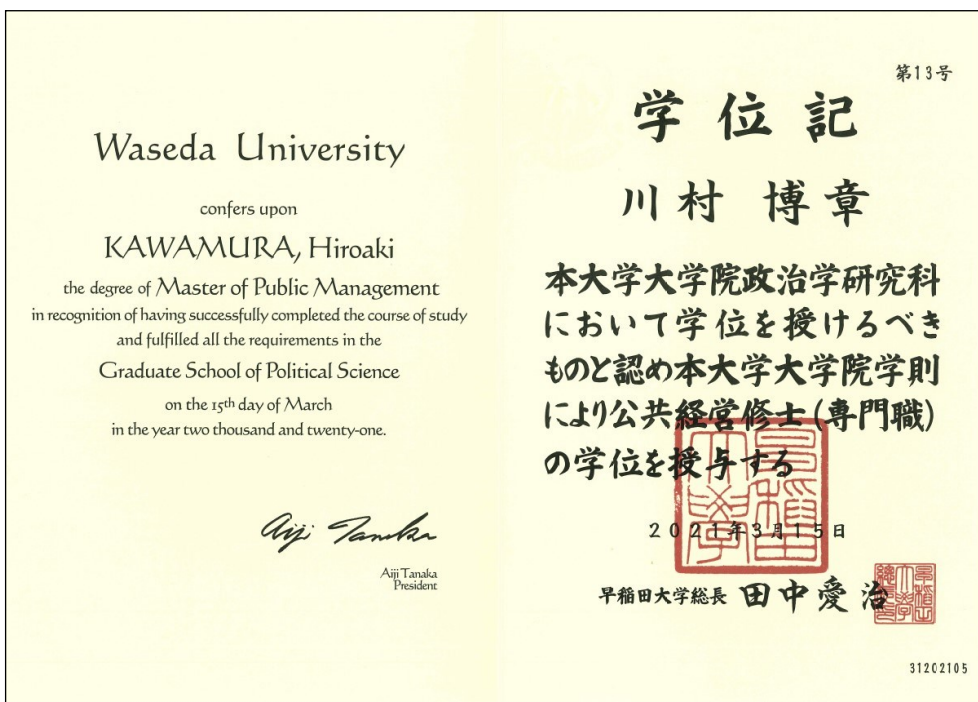
大学院では様々なことを学ばせていただきましたが、単に知識を得たということだけではなく、様々な事象に対応するため考え方や対処の仕方を学ばせていただき、大変有意義だったと感じております。

藤井浩司教授を始め、ご指導いただきました先生方に改めて感謝申し上げますと共に、今回学んだことを是非、千葉市政に役立てていこうと考えております。

これからも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



大学院学位授与式の後、早稲田大学・大隈庭園にて



学部卒業式・大学院学位授与式

◎政策提言 [令和3年第1回定例会の一般質問：「ロープウェイについて」]

令和3年第1回定例会の一般質問（3月1日）において「ロープウェイについて」と題して、政策提言を行いましたのでご報告申し上げます。

ロープウェイは構造上、搬器（キャビン・ゴンドラ）の乗員数が10名以下で少人数を運ぶ乗り物です。また軌道上に載せる搬器の数で輸送量を調節することが可能になります。これにより、ラッシュ時には搬器の間隔を狭めることにより毎時間当たり2,000名の輸送能力があり、ラッシュ時以外のオフタイムでは搬器同士の間隔を広げるもののモノレールのように20分間隔とはならず、分単位の運行となることからあまり待たずに利用できる、時刻表がいらぬ公共交通になります。

運行面では、中央制御なのでバスのような運転手が不要で、バスの自動運転システムよりもはるかに簡単なシステムになります。

またインフラ整備では、ロープウェイの各支柱間の距離は数百mで、モノレールのように何十mごとに支柱を建設する必要がなく橋脚も必要ないので、インフラ整備費用が圧倒的に安く、工期もあまりかからず工期が短い交通システムになります。

次に環境面などでは、バスのように排気ガスを出さないことから環境にやさしい乗り物であり、搬器の定員数が10人以下で立ったまま乗ることは出来ないことから「三密」を避けた乗り物でもあります。

メンテナンスの面でも、インフラ整備費と同様、他の交通システムに比べて費用が掛からず、仮に配線となって撤去する場合でも莫大な費用は掛かりません。

以上のようにロープウェイは、利便性・コスト・運行面などからモノレールや他の公共交通システムと比較しても遜色ない公共交通システムであります。

一般質問では、具体的に花見川区への導入案として、住宅団地上ルートと市街化調整区域ルート2案を提案しましたが、何れのルートも道路上に設置するだけではなく、家屋や畑など民地の上を通過しなければならず、幕張メッセ方面へは鉄道を横断することから関係者からの同意が得られるか等の課題が多くあることも事実です。

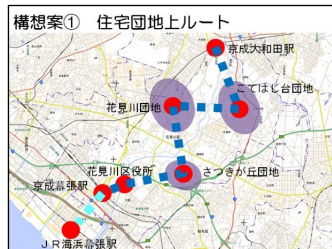
横浜市では、みなとみらい地区で都市型ロープウェイの運行が始まりました。

本市でも「陸の孤島」解消策として、都市型ロープウェイの導入検討を始めるべきではないかと感じております。

政策提言

・ロープウェイの公共交通システムとしての利点。

- 1) ロープウェイは毎時2,000人以上の大量輸送が出来ること。
- 2) 時間当たりの運行本数が多く、利便性が確保されること。
- 3) 運転手がいらぬ運転システムで、自動運転技術に比べてはるかに簡単なシステムであること。
- 4) ロープウェイは他の交通システムに比べ、インフラ整備の費用が圧倒的に安く、工期も短い交通システムであること。
- 5) 排気ガス等を出さない環境にも優しい交通システムであること。
- 6) 現在のコロナ禍の中、「三密」を避けることが推奨される中、ロープウェイのゴンドラは6人乗りから8人乗りで、「三密」を避けた公共交通システムでもあること。
- 7) ロープウェイを公共交通として導入して、ある程度の年数が経ち、インフラのメンテナンスをしなければならなくなった際の費用も他の交通システムより掛からないのではないかと予想されること。



一般質問で提案した花見川区内へのロープウェイ導入案

◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0005

千葉市花見川区こてはし台3-13-4

TEL: 043-250-1021

FAX: 043-250-0071